

30医福第639号  
平成30年10月25日

関係医療機関の長 様

愛知県健康福祉部保健医療局長  
(公印省略)

地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査  
について (依頼)

本県の健康福祉行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、各構想区域の地域医療構想推進委員会において、地域医療構想の実現に向けた協議を進めているところであり、来年2月頃に開催予定の地域医療構想推進委員会における協議の参考とするため、昨年度に引き続き、平成30年度病床機能報告の内容を補完することを目的として、今後の病床機能等に関する調査を実施することとしました。

つきましては、御多忙のところ恐縮ですが、別添の調査票に御記入いただき、下記のとおり御回答いただきますようお願いいたします。

記

1 回答期限

平成30年11月16日(金)

2 提出方法

いずれかの方法により御回答ください。

(1) メール

提出先: [iryofukushi@pref.aichi.lg.jp](mailto:iryofukushi@pref.aichi.lg.jp)

○メールの件名は「【渡邊行】地域医療構想を踏まえた意向調査」としてください。

※ **調査票(公立・公的)**をホームページよりダウンロードしてください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iryofukushi/tyousa.html>)

愛知県公式ホームページ > 組織で探す > 医療福祉計画課 > 地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査について

(2) ファックス (別添の調査票をそのまま送付してください。)

提出先: 052-953-6367

担当 医療福祉計画課医療計画グループ (渡邊)

電話 052-954-6265 (ダイヤルイン)

ファックス 052-953-6367

○ 地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査 調査票(公立・公的)

医療機関名	
所在地	
記入者	
連絡先(電話番号)	

1. 平成30年7月1日現在の医療機能

病床数・病棟数(4機能ごとに記載)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	計
病床数	床	床	床	床	床	床
病棟数	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟

注) 有床診療所の場合は、1施設を1病棟とカウントしてください。

2. 病床が担う医療機能の転換について

2025年7月1日時点における病床の機能の予定

本年からの変更予定の有無  (1. 有 2. 無)

↓ 有の場合

→ 設問3へ

変更予定年月 年 月

2025年の医療機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	介護保険施設等へ移行予定	計
病床数	床	床	床	床	床	床	床	床
病棟数	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟

理由を記載

3. 地域医療構想を踏まえた将来担う役割の予定について

2025年7月1日時点において、貴院が地域において担う役割の予定について、該当する項目に「○」を御記入ください。[複数回答可]

注1) 将来担う役割(予定)を選択する際の具体的な基準については、別紙(愛知県地域保健医療計画別表記載基準等)をご覧ください。現在担っていない機能を選択する場合は、貴院が策定したプランの内容と整合性があるか確認してください。

注2) 今年度第1回目の地域医療構想推進委員会で、医療計画及びプランに基づく現時点における公立・公的医療機関等の役割(予定)について、お示ししております。その結果、合意を得た医療機関が、合意内容と異なる役割を選択される場合は、当該役割及びその理由を具体的に御記入ください。(あらかじめ地域医療構想推進委員会で役割の変更について、個別に合意を得ることとなります。)

がん	脳卒中	心血管疾患	精神	救急医療	災害医療
へき地医療	周産期医療	小児救急医療	在宅医療 (在宅療養支援病院・診療所)	その他 (地域医療支援病院)	

(合意内容と異なる役割を選択される場合のみ)

合意から変更する役割	役割を 1. 追加 2. 削除	変更する理由

4. 非稼働病棟について(平成30年7月1日現在)

非稼働病棟の有無  (1. 有 2. 無) → 設問5へ

○非稼働病棟  
「平成29年7月1日から平成30年6月30日までの過去1年間に1度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟」  
平成30年度病床機能報告マニュアル(記入要領)を参照してください。

有の場合  
(1)、(2)を御回答ください。

※感染症病床、結核病床、精神病床は報告対象外です。

(1)非稼働病棟の現状、今後の予定

病棟名	病床数	非稼働開始時期	現在の状況		再開時の機能の予定	左記予定時期	具体的な時期
			1. 再開予定 2. 廃止予定	再開の場合のみ記入 1. 高度急性期 2. 急性期 3. 回復期 4. 慢性期			
病棟1	床	年 月					年 月
病棟2	床	年 月					年 月
病棟3	床	年 月					年 月

病棟1	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容(再開予定の場合のみ)	
病棟2	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容(再開予定の場合のみ)	
病棟3	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容(再開予定の場合のみ)	

(2)過去3年間の病床稼働率

過去3年間の病床稼働率		施設全体		うち一般病床		うち療養病床	
(一般及び療養病床のみ)	H27年度	%	床	%	床	%	床
	H28年度	%	床	%	床	%	床
	H29年度	%	床	%	床	%	床

☞ 3ページ目に続きます。

5. 地域医療構想を踏まえた今後の役割について

開設者の変更を含む担う役割や機能を大きく変更する<sup>(※)</sup> 予定  
担う役割や機能を大きく変更する予定  (1. 有 2. 無) → 設問6へ

有の場合

※ 病床機能報告の病棟単位の医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)を変更する場合や、当調査票の設問3におけるいずれかの役割を新たに担う予定である場合は「有」と回答してください。(提供する医療内容に変更がない場合は、該当しません。)

プラン変更予定  (1. 有 2. 無)

変更予定年月  
(変更予定がある場合に記入) 年 月

<参考>

地域医療構想の進め方について(抄)(平成30年2月7日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

1(1)ア(ア)公立病院に関すること  
「新公立病院改革プラン」を策定した上で、地域医療構想調整会議において、2025年に向けた具体的な対応方針を協議すること。…… 具体的な対応方針を決定した後に、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。

1(1)ア(イ)公的医療機関等2025プラン対象医療機関に関すること  
公的医療機関等2025プランを策定した上で、地域医療構想調整会議において、2025年に向けた具体的な対応方針を協議すること。…… 具体的な対応方針を決定した後に、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。

6. 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの変更について

これまでに本県に提出いただいたプランから内容に変更がある場合は、変更後のプランを併せて、御提出ください。

変更したプランの提出  (1. 有 2. 無) → 以上で調査は終了です。

↓ 有の場合

変更箇所を任意の様式(新旧対照表)で御提出ください。

☞ ご協力ありがとうございました。

30医福第639号  
平成30年10月25日

関係医療機関の長 様

愛知県健康福祉部保健医療局長  
(公印省略)

地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査  
について(依頼)

本県の健康福祉行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、各構想区域の地域医療構想推進委員会において、地域医療構想の実現に向けた協議を進めているところであり、来年2月頃に開催予定の地域医療構想推進委員会における協議の参考とするため、昨年度に引き続き、平成30年度病床機能報告の内容を補完することを目的として、今後の病床機能等に関する調査を実施することとしました。

つきましては、御多忙のところ恐縮ですが、別添の調査票に御記入いただき、下記のとおり御回答いただきますようお願いいたします。

記

1 回答期限

平成30年11月16日(金)

2 提出方法

いずれかの方法により御回答ください。

(1) メール

提出先: [iryofukushi@pref.aichi.lg.jp](mailto:iryofukushi@pref.aichi.lg.jp)

○メールの件名は「【渡邊】地域医療構想を踏まえた意向調査」としてください。

※ 調査票(公立・公的以外)をホームページよりダウンロードしてください。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iryofukushi/tyousa.html>)

愛知県公式ホームページ > 組織で探す > 医療福祉計画課 > 地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査について

(2) ファックス(別添の調査票をそのまま送付してください。)

提出先: 052-953-6367

担当 医療福祉計画課医療計画グループ(渡邊)

電話 052-954-6265(ダイヤル)

ファックス 052-953-6367

愛知県健康福祉部医療福祉計画課 医療計画グループ 渡邊行 (FAX 052-953-6367)

○ 地域医療構想を踏まえた各医療機関の今後の病床機能等に関する意向調査 調査票(公立・公的以外)

医療機関名	
所在地	
記入者	
連絡先(電話番号)	

1. 平成30年7月1日現在の医療機能

病床数・病棟数(4機能ごとに記載)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	計
病床数	床	床	床	床	床	床
病棟数	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟

注) 有床診療所の場合は、1施設を1病棟とカウントしてください。

2. 病床が担う医療機能の転換について

2025年7月1日時点における病床の機能の予定

本年からの変更予定の有無  (1.有 2.無)

↓ 有の場合

→ 設問3へ

変更予定年月	年 月						
2025年の医療機能							
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	介護保険施設等へ移行予定	計
病床数	床	床	床	床	床	床	床
病棟数	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
理由を記載							

3. 地域医療構想を踏まえた将来担う役割の予定について

2025年7月1日時点において、貴院が地域において担う役割の予定について、該当する項目に「○」を御記入ください。[複数回答可]

注1) 将来担う役割(予定)を選択する際の具体的な基準については、別紙(愛知県地域保健医療計画別表記載基準等)をご覧ください、現在担っていない機能を選択する場合は、当調査票の設問5と整合性があるか確認してください。

注2) なお、平成30年3月現在の別表記載医療機関の一覧については、以下のアドレスで確認することができます。  
(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/264168.pdf>)

がん	脳卒中	心血管疾患	精神	救急医療	災害医療
へき地医療	周産期医療	小児救急医療	在宅医療 (在宅療養支援病院 ・診療所)	その他 (地域医療支援病院)	

4. 非稼働病棟について(平成30年7月1日現在)

非稼働病棟の有無  (1. 有 2. 無)

有の場合  
(1)、(2)を御回答ください。

○非稼働病棟  
「平成29年7月1日から平成30年6月30日までの過去1年間に1度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟」  
平成30年度病床機能報告マニュアル(記入要領)を参照してください。

※感染症病床、結核病床、精神病床は報告対象外です。

(1)非稼働病棟の現状、今後の予定

病棟名	病床数	非稼働開始時期	現在の状況		再開時の機能の予定	左記予定時期	具体的な時期
			1. 再開予定 2. 廃止予定	再開の場合のみ記入 1. 高度急性期 2. 急性期 3. 回復期 4. 慢性期	1. 2020年度まで 2. 2023年度まで 3. 2024年度以降	年月が決まっている 場合に記入	
病棟1	床	年 月					年 月
病棟2	床	年 月					年 月
病棟3	床	年 月					年 月

病棟1	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容 (再開予定の場合のみ)	
病棟2	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容 (再開予定の場合のみ)	
病棟3	非稼働の理由	
	非稼働解消に向けた取組の内容 (再開予定の場合のみ)	

(2)過去3年間の病床稼働率

過去3年間の病床稼働率		施設全体		うち一般病床		うち療養病床	
(一般及び療	H27年度	%	床	%	床	%	床
養病床のみ)	H28年度	%	床	%	床	%	床
	H29年度	%	床	%	床	%	床

☞ 3ページ目に続きます。

5. 地域医療構想を踏まえた今後の役割について

開設者の変更を含む担う役割や機能を大きく変更する<sup>(※)</sup>予定

担う役割や機能を大きく変更する予定  (1. 有 2. 無)

有の場合

今後の事業計画(プラン)を策定してください。  
(公的医療機関等2025プランの様式で策定してください。)

※ 正式な依頼文は、後日改めて送付させていただきます。

以下の質問に御回答ください。

(1)地域(構想区域)において今後担うべき役割 (5疾病・5事業 等)

(具体例)  
・〇〇病院のみでは対応しきれない、脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の提供体制は維持していく  
・引き続き、救急医療を担う 等

(2)今後持つべき病床機能 (高度急性期、急性期、回復期、慢性期までの4機能)

(具体例)  
・現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模の適正化を検討する  
・回復期機能を提供する病棟の整備について検討する 等

(3)その他見直すべき点

(具体例)  
・医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討する 等

(4)診療科の見直しについて

見直し予定  (1. 有 2. 無)

↓ 有の場合

	現在	将来 (2025年度)	実施予定時期
維持	→	→	
新設	→	→	年 月
廃止	→	→	年 月
変更・統合	→	→	年 月

☞ ご協力ありがとうございました。

※ 病床機能報告の病棟単位の医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)を変更する場合や、当調査票の設問3におけるいずれかの役割を新たに担う予定である場合は「有」と回答してください。  
(提供する医療内容に変更がない場合は、該当しません。)

<参考>

地域医療構想の進め方について(抄)(平成30年2月7日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

1 (1) ア (ウ) その他の医療機関に関すること (公立・公的病院以外)  
その他の医療機関のうち、開設者の変更を含め構想区域において担うべき医療機関としての役割や機能を大きく変更する病院などの場合には、今後の事業計画を策定した上で、地域医療構想調整会議において、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、速やかに2025年に向けた対応方針を協議すること。 . . . . . また、対応方針を決定した後に、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。

上記の通知を受け、平成30年7月23日開催の愛知県医療審議会医療体制部会において、医療機関の役割や機能を変更する情報を得た場合については、該当医療機関に公的医療機関等2025プランに準じた事業計画の作成を求めることが承認されています。